

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 都整-41 施設整備事業(雨水) <input type="checkbox"/> 支援部門									
主管課	下水道河川課	関連課	総合防災課・道水路管理課							
分野名	下水道・河川									
目標 (目標値)	雨水排水整備による浸水被害を防御する。									
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考					
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯						
	事業の対象者数	172,043人	172,425人	171,528人						
事業費(千円)	176,689	114,240	90,623							
運営資源状況	(国・県)	8,000	3,300							
	(負担金等)	132,900								
	(一般財源)	35,789	110,940	90,623						
	人員配置数	4.4人	3.6人	4.5人						
	人件費(千円)	34,642	28,990	38,266						
	協働のパートナー									
	事務事業 運営経費	総事業費(千円)	211,331	143,230	128,889					
	市民1人当りの経費(円)	1,188	808	727						
	対象者1人当りの経費(円)	1,228	831	751						
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名→	鎌倉市	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市
	実施計画の進行	77.9%	65.1%	55.9%	47.9%	64.5%	76.9%	66.2%	92.9%	48.9%
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
雨水整備率・雨水整備費	○	目標値	78% 171,600	78% 179,850	78% 181,690	78% 233,280	79%			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	78% 135,339	78% 88,084	78% 111,765	78% 174,066				

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
施設整備事業	176,689	雨水排水施設整備事業	239,602	今後の方向性	A	理由・手法	下水道法に基づき、毎年下水道台帳の速やかな更新を行い、市民等への情報提供を行う。浸水被害を解消するため、国庫補助金を活用しながら、着実に雨水排水整備を行う。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	法で定められた下水道台帳の速やかな更新を行い、ネット公開や窓口端末によって情報を即座に反映させるとともに、災害時における台帳の喪失を防止する。道路幅員が狭く埋設物が輻輳しているため、新設雨水施設の埋設の際に障害となっている。												
課題解決のための取組	台帳のPDF化を行い、簡易電子化を進めた。最小限の埋設物の移設、雨水施設の埋設位置の調整や形状変更等に対応した。								取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決			
未解決の課題	今後も、雨水排水施設の整備で、既存埋設物による工事への障害や移設費等の増大が懸念される。浸水被害の解消には、内水対策として雨水調整池・貯留管等の設置が必要であり、用地確保、国庫補助取得などの課題がある。												
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)				➡	①効率性	<input type="checkbox"/>	②妥当性	<input type="checkbox"/>	③有効性	<input type="checkbox"/>	④公平性	<input type="checkbox"/>
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	従前からの公共下水道(雨水)整備と併せて、浸水地域を対象として策定した「鎌倉市下水道総合浸水対策基本計画」を基に、雨水貯留施設等の整備、効率的な雨水対策の整備を進める。								➡ A		※□事業完了		

評価者名

下水道河川課担当課長

藤木 修(下水道担当)
甘粕 潔(河川担当)

